

事業所団体調査(横浜市社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
横浜市社会福祉協議会 ウィリング横浜	明治学院大学提携講座 精神障害~うつ病と統合失調症	横浜市内在住及び在勤の福祉保健従事者	【1日目】うつ病を知る ・うつ病の症状、原因、進行について ・治療について・予防、ストレスマネジメント 【2日目】統合失調症を知る ・統合失調症の症状と原因・経過と治療・早期発見について	1回	1カ所	4時間(2日)	103人	-	-	-
	課題別入門講座 成年後見制度の基礎知識講座	横浜市内在住及び在勤の福祉保健従事者	・利用者の権利とは ・権利擁護システムとしての成年後見制度	1回	1カ所	2.5時間(1日)	62人	-	-	-
	課題別入門講座 生活保護制度入講座	横浜市内在住及び在勤の福祉保健従事者	・公的扶助・生活保護制度の概要 ・自立支援の在り方 ・生活保護の決定までの流れ	2回	1カ所	3時間(1日)	151人	-	-	-
	課題別入門講座 観察力を高める	横浜市内在住及び在勤の福祉保健従事者で高齢者対象の介護業務に従事している方	・介護者の「いつもの様子」をきちんと視る「観察力」を高めるポイントを学ぶ ・医療連携について学ぶ	1回	1カ所	3時間(1日)	109人	-	-	-
	課題別入門講座 個人情報保護制度	横浜市内在住及び在勤の福祉保健従事者	・個人情報とは ・個人情報保護法とは ・個人情報保護の具体的な進め方	1回	1カ所	3時間(1日)	49人	-	-	-
	課題別入門講座 会議運営力を磨く	横浜市内在勤の福祉保健従事者	会議についての基本知識 会議における問題点とは 会議を成功させるために 会議運営力をより高めるためには	1回	1カ所	3時間(1日)	40人	-	-	-
	精神障害の理解と地域生活支援	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者・活動者	・「精神のやまい」と「生活のしづらさ」の理解 ・地域支援の実際~事例を通して考える~	1回	1カ所	2.5時間(1日)	89人	-	-	-
	介護の現場を伝えるシンポジウム	一般	基調講演「福祉現場の今-利用者が自分らしく生きるサービスを目指して」 パネルディスカッション「福祉の魅力~働くことで得られるもの」 パネリスト高齢者施設・高齢者施設・居宅サービス・ハローワーク・行政	1回	1カ所	2.5時間(1日)	180人	-	-	-
	介護支援専門員実務研修受講試験 直前対策講座	横浜市内在勤または在住者で平成21年度実務研修受講試験申込者	・出題傾向の説明 ・分野ごとの重要事項の解説 ・問題演習、解説・重要ポイントの説明	1回	1カ所	2.5時間(1日)	1回平均49名	-	-	-
	介護福祉士国家試験受験直前対策講座	横浜市内在勤または在住者で平成21年度介護福祉士国家試験申込者	科目ごとの要点解説 問題演習、解説・重要ポイントの説明	1回	1カ所	2.5時間(1日)	1回平均43人	-	-	-
リフレッシュセミナー シェイプアップYOGA & アロマストレッチ	横浜市内在住または在勤で、福祉・保健関係の仕事や活動をされている方	シェイプアップYOGA & アロマストレッチ	2回	1カ所	2.5時間(1日)	55人	-	-	-	
リフレッシュセミナー リフレッシュYOGA & アロマストレッチ	横浜市内在住または在勤で、福祉・保健関係の仕事や活動をされている方	シェイプアップYOGA & アロマストレッチ	2回	1カ所	2.5時間(1日)	28人	-	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。

事業所団体調査(川崎市社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
川崎市社会福祉協議会 川崎市高齢社会福祉総合センター	介護職員基礎研修	2級研修を修了し、介護保険指定サービス事業所において介護職としての経験が1年以上の方	講義と演習	1回	1カ所	150時間(16日)	13人	-	-	
	訪問介護員養成研修2級課程	訪問介護業務等に従事することを希望する方	講義、実技講習、訪問介護等実習	1回	1カ所	190時間(31日)	35人	-	-	
	福祉職員向け現任研修	市内在住又は市内事業所にて、現在訪問介護業務を行っている方、市内高齢者福祉施設などにて、現在介護業務を行っている方、市内事業所にて、現在介護支援専門員としての業務を行っている方	講義または実技演習	38回	1カ所	125時間(43日)	1,469人	-	-	
	介護福祉士資格取得準備講座	介護福祉士国家試験受験資格保有者	講義、実技(実技は筆記試験受験者のみ)	1回	1カ所	44時間(9日)	40人	-	-	
	介護支援専門員実務研修受講試験受験準備講座	介護支援専門員実務研修受講試験受験資格保有者で、今年度の受験を予定している方	講義	1回	1カ所	21時間(4日)	109人	-	-	
	認知症介護実践者研修	次の(1)、(2)又は(3)に該当する方で、認知症の知識に関して、一定の理解がある方。ただし、平成16年度までの痴呆介護実務者研修を受講している方は除きます。 (1)川崎市内の介護保険施設等に勤務する介護職員で、認知症の知識に関して、介護福祉士等の知識を習得している方であり、かつ介護現場の経験が2年以上の方。 (2)川崎市内の地域密着型サービス事業の管理者・計画作成担当者変更に伴い、新たに管理者・計画作成担当者として従事する方。 (3)川崎市内で地域密着型サービス事業を設立予定で、管理者又は計画作成担当者として勤務予定の方。 ※認知症の知識に関して、一定の理解とは、介護福祉士等の知識に準じています。	講義、職場内実習	2回	1カ所	51時間(9日)	76人	-	-	
認知症介護実践リーダー研修	次の(1)、(2)の条件を満たす方 (1)川崎市内の介護保険施設等に勤務する介護職員で、介護現場の経験が5年以上あり、認知症介護実践者研修を修了し1年以上経過している方、又は痴呆介護実務者研修を修了している方。 (2)介護現場において実践リーダー役の立場にある方、又はその予定にある方。	講義、他施設・職場内実習	2回	1カ所	60時間(10日)	19人	-	-		

事業所団体調査(川崎市社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
川崎市社会福祉協議会 川崎市高齢社会福祉総合センター	認知症対応型サービス事業管理者研修	認知症対応型共同生活介護・認知症対応型通所介護・小規模多機能型居宅介護の管理者となることが具体的に決定している方で、次のいずれかの要件を満たしている方。 (1)平成16年度までの痴呆介護実務者研修(基礎課程・専門課程)を修了している方 (2)認知症介護実践研修(実践者研修・実践リーダー研修)を修了している方	講義	2回	1カ所	17時間(3日)	32人	-	-	
	認知症対応型サービス事業開設者研修	利用者のいきがいきづくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	講義、他施設実習	1回	1カ所	19時間(4日)	4人	-	-	
	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	小規模多機能型居宅介護に勤務している方、又は勤務する予定の方で、介護支援専門員の資格を有し、次のいずれかの要件に該当する方 (1)平成16年度までの痴呆介護実務者研修(基礎課程・専門課程)を修了している方 (2)認知症介護実践者研修(実践者研修・実践リーダー研修)を修了している方	講義	1回	1カ所	13時間(2日)	4人	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。 ・事業所によって研修参加の取組に温度差があり、申込みに偏りがある。 ・講師の都合と利便性の良い会場の空き状況とのマッチングが困難である。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。 ・利便性の良い会場の確保 ・事前の周知	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。 ・研修出席者の代替職員の派遣 ・受講料の補助
---	---	---

事業所団体調査(名古屋市社会福祉協議会)

実施主体	質問1: 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
	1. 名称	2. 対象者	3. 内容	4. 年間実施回数	5. 実施力所数	6. 時間数(期間)	7. 年間受講者数	8. 費用(1人当たり)	8. 費用(総事業費)	9. その他	
名古屋市社会福祉協議会	新任職員研修—基礎研修—	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の新任職員	「新任職員としての心構えとは～社会人として必要な意識・知識を身につける～」	1回	1カ所	7時間(1日)	58人	-	-	-	
	新任職員研修—ステップアップ研修—	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の新任職員	「組織の中の一員として～組織で使えるコミュニケーション技法を学ぼう～」	1回	1カ所	6時間(1日)	68人	-	-	-	
	中堅職員研修	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の中堅職員	「組織における『中堅』とは～どうすれば利用者本位サービス時代を担う真の専門職になれるか～」	1回	1カ所	5時間(1日)	46人	-	-	-	
	指導的職員研修	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の指導的職員	「真の職場リーダーになるために～指導的職員としての役割行動と組織管理～」	1回	1カ所	6時間(1日)	36人	-	-	-	
	運営管理職員研修	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の運営管理職員	「変革期の職場課題解決に求められるマネジメントスキル～課題解決における“プロセス”と“リーダーシップ”を学ぶ～」	1回	1カ所	6時間(1日)	10人	-	-	-	
	生活相談員研修	高齢者福祉施設的生活相談員	「福祉サービスにおけるリスクの理解と危険予知の必要性について～生活相談員の役割とは～」	1回	1カ所	6時間(1日)	39人	-	-	-	
	看護師(看護職員)研修	高齢者福祉施設の看護師(看護職員)	「その人らしく生きぬくためのターミナルケア～看護師に必要な視点と関わり～」	1回	1カ所	6時間(1日)	40人	-	-	-	
	介護支援専門員研修	高齢者福祉施設の介護支援専門員	「施設ケアマネとしての基本姿勢と施設ケアプラン～ケアプランを基にしたよりよいチームケアの実践を目指す～」	1回	1カ所	6時間(1日)	32人	-	-	-	
	介護職員・支援員研修(高齢)	利用者のいきがいづくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	「認知症高齢者への支援に必要な知識・視点を学ぶ」	1回	1カ所	6時間(1日)	60人	-	-	-	
	デイサービスセンター職員研修	高齢者福祉施設のデイサービスセンター職員	「デイサービスにおける利用者とのコミュニケーション～利用者主体の視点から～」	1回	1カ所	3時間(1日)	24人	-	-	-	
	障がい者援助技術研修Ⅰ	障害者福祉施設の職員	「利用者との関わり方を見つめなおす～施設職員として、障がい者について改めて学ぶ～」	1回	1カ所	6時間(1日)	36人	-	-	-	
	障がい者援助技術研修Ⅱ	障害者福祉施設の職員	「利用者の地域生活移行を考える～地域移行支援の中で、施設の役割とは～」	1回	1カ所	5時間(1日)	28人	-	-	-	
	ケアマネジメント研修Ⅰ(障がい)	障害者福祉施設の職員	「利用者主体の個別支援計画作成を目指す～アセスメントから計画作成まで～」	1回	1カ所	6時間(1日)	21人	-	-	-	
	ケアマネジメント研修Ⅱ(障がい)	障害者福祉施設の職員	「個別支援計画を施設の支援プログラムの中で活かす～モニタリングから終結まで～」	1回	1カ所	6時間(1日)	28人	-	-	-	
	事務員研修Ⅰ(会計)	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設事務員	「社会福祉施設の会計基礎と就労支援会計基準対策」	1回	1カ所	6時間(1日)	51人	-	-	-	
	事務員研修Ⅱ(会計)	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設事務員	「社会福祉施設の予算・決算」	1回	1カ所	6時間(1日)	50人	-	-	-	
	事務員研修Ⅲ(労務管理)	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設事務員	「社会福祉施設における労務管理と法律制度～適切な労務管理のためのケーススタディ・Q&A～」	1回	1カ所	6時間(1日)	35人	-	-	-	
	食事サービス担当者(栄養士・調理員)研修	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設食事サービス担当者(栄養士・調理員)	「生活機能とQOLの維持・向上を考えた食事サービスをマネジメントする」	1回	1カ所	4時間(1日)	32人	-	-	-	
	職場研修担当者研修—基礎研修—	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職場研修担当者	「これからの福祉人材育成と職場研修の推進について～『職場研修』の考え方と仕組みを理解する～」	1回	1カ所	6時間(1日)	41人	-	-	-	
	職場研修担当者研修—フォローアップ研修—	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職場研修担当者	「これからの福祉人材育成と職場研修の推進について～『職場研修』の振り返りと今後の新たな課題とは～」	1回	1カ所	3時間(1日)	25人	-	-	-	
	接遇研修	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「施設職員としての接遇マナーの基本～自分の行動を振り返ろう! 感じ、考え、実践しよう!～」	1回	1カ所	7時間(1日)	28人	-	-	-	
	救急法研修(普通)	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「救急法について学ぶ～“もしも”のための応急手当(普通救命講習)～」	4回	1カ所	3時間(1日)	117人	-	-	-	
	救急法研修(上級)	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「いろいろな応急手当を学ぶ～“いざ”というときのための応急手当(上級救命講習)～」	2回	1カ所	7時間(1日)	47人	-	-	-	
	事業情報管理・活用研修	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「新任職員必見! 福祉現場における個人情報保護～個人情報保護法対策の見直しと適切な活用に向けて～」	1回	1ヶ所	3時間(1日)	20人	-	-	-	
	QOL向上研修Ⅰ	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「利用者の生きがい、意欲へと導くレクリエーション～機能回復と体力づくりの視点から～」	1回	1ヶ所	6時間(1日)	46人	-	-	-	
	QOL向上研修Ⅱ	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「人にやさしい施設環境づくり～ケアを助ける環境づくりのスキルを学ぶ～」	1回	1ヶ所	6時間(1日)	43人	-	-	-	
介護技術研修Ⅰ	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「入浴介助の基礎～安全で安心できる入浴介助法～」	1回	1ヶ所	6時間(1日)	39人	-	-	-		
介護技術研修Ⅱ	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「自然な動きの体位変換と移乗」	1回	1ヶ所	6時間(1日)	39人	-	-	-		
医学基礎知識研修Ⅰ	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「施設における感染症の理解と予防～チーム(委員会)活動による理解・意識向上の取り組みを学ぶ～」	1回	1ヶ所	3時間(1日)	62人	-	-	-		

事業所団体調査(名古屋市社会福祉協議会)

質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									4	5	6	7	8	8	9
実施主体	1 名称	2 対象者	3 内容	年間実施回数	実施力所数	時間数(期間)	年間受講者数	費用(1人当たり)	費用(総事業費)	その他					
名古屋市社会福祉協議会	医学基礎知識研修Ⅱ	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「福祉施設に必要な医学知識とその活用～現場で役立つ“薬”の知識と、日常の観察・緊急時対応のポイント～」	1回	1ヶ所	5時間30分(1日)	72人	-	-	-					
	対人援助技術研修	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「対人援助の基本姿勢とセルフコントロール術～心理療法から援助職としての『わたし』を見つめる～」	1回	1ヶ所	6時間(1日)	54人	-	-	-					
	教養セミナー	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「知って得する東洋医学・漢方の知識～疲労回復・健康増進に活かすポイントを学ぼう～」	1回	1ヶ所	3時間(1日)	15人	-	-	-					
	高齢者福祉施設見学研修	高齢者福祉施設の職員	「快適な職場環境を作り出すための職員による取り組みについて学ぶ～利用者への充実したケアへとつなげるために～」	1回	1ヶ所(施設見学2カ所)	6時間(1日)	28人	-	-	-					
	経営者・施設長セミナー	名古屋市内社会福祉施設の経営者・施設長	第1回「保育所における家庭支援について」「子どもと大人の豊かな関係づくり」 第2回「災害時の要介護者支援への取り組み」「利用者や職員を守るための最新感染症対策」 第3回「障害者自立支援法の今後とこれからの施設運営」「私らしさを実現する車椅子デニス」	3回	1カ所	3時間30分(1日)	175人	-	-	-					
	社会福祉施設職員相互派遣研修	高齢者福祉施設・障害者福祉施設の職員	現場実習	1回	1カ所	1ヶ月半のうち2、3日	32人	-	-	-					
	福祉ネットワーク研修	名古屋市内社会福祉施設の職員	「地域とつながる福祉施設であるために」	1回	1カ所	3時間(1日)	61人	-	-	-					
	福祉サービス苦情相談事業研修	市内社会福祉施設の職員	第1回「医療現場の苦情から学ぶ」 第2回「苦情における法的解釈を学ぶ」「スーパービジョン」	2回	1カ所	3時間(半日)	157人	-	-	-					
	認知症介護実践者等養成研修—実践者研修—	高齢者福祉施設の職員	・認知症介護の理念 ・認知症高齢者の理解と生活の捉え方 ・認知症高齢者の生活支援の方法 ・職場実習	3回	1カ所	32時間30分(5日)	292人	-	-	-					
	認知症介護実践者等養成研修—実践リーダー研修—	高齢者福祉施設の職員	・認知症 ・認知症介護のための組織論 ・人材育成のための技法 ・チームケアのための事例演習 ・実習課題設定 ・外部実習 ・職場実習 ・実習経過報告を通してのまとめ	1回	1カ所	142時間(20日)	35人	-	-	-					
	認知症介護実践者等養成研修—フォローアップ研修—	高齢者福祉施設の職員	・チーム力の育成・向上にむけて ・自施設の職場環境をマネジメントする	1回	1カ所	4時間(1日)	68人	-	-	-					
	認知症介護実践者等養成研修—認知症対応型サービス事業開設者研修—	高齢者福祉施設の職員	・認知症高齢者の基本理解 ・認知症高齢者のケアのあり方 ・家族の理解・高齢者との関係の理解 ・地域密着型サービスの取り組みについて ・現場体験	1回	1カ所	14時間(2日)	11人	-	-	-					
	認知症介護実践者等養成研修—認知症対応型サービス事業管理者研修—	高齢者福祉施設の職員	・地域密着型サービス基準について ・地域密着型サービスの取り組みについて ・介護従事者に対する労務管理について ・適切なサービス提供のあり方について	2回	1カ所	9時間(2日)	93人	-	-	-					
	認知症介護実践者等養成研修—小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修—	高齢者福祉施設の職員	・総論・小規模多機能ケアの視点 ・ケアマネジメント理論 ・地域生活支援 ・チームケア ・居宅介護支援計画作成の実際	2回	1カ所	9時間(2日)	29人	-	-	-					
	福祉人材確保のための職員研修中堅職員(介護職・リーダー)研修	名古屋市内で介護サービスを提供する事業所の従業者の方で通所・入所系介護関係業務従事者(3年以上)	「OJT・コーチングの基本と効果的な実施」「円滑な人間関係の構築、主体性を導く“ビジョン”づくり」	2回	2カ所	6時間(1日)	11人	-	-	-					
福祉人材確保のための職員研修管理者研修(通所・入所系事業所)	名古屋市内で介護サービスを提供する事業所の従業者の方で、通所・入所系事業所で従事する管理者又は人事労務事務従事者	「管理者による簡単・快適職場づくり」「労務管理の基礎知識」「労務管理の実践における知恵と工夫」	3回	3カ所	6時間(1日)	93人	-	-	-						
福祉人材確保のための職員研修認知症基礎研修(介護職員向け)	名古屋市内で介護サービスを提供する事業所の従業者の方で、通所・入所系施設に従事する介護関係業務従事者	「認知症に関する基礎知識」「認知症の“人”の理解と適切な支援に向けて」	2回	2カ所	6時間(1日)	188人	-	-	-						
福祉人材確保のための職員研修認知症基礎研修(看護職員向け)	名古屋市内で介護サービスを提供する事業所の従業者の方で、訪問系及び通所・入所系に従事する看護師又は准看護師	「認知症の基礎知識」「看護専門職による援助とコミュニケーション」	2回	2カ所	6時間(1日)	75人	-	-	-						
福祉人材確保のための職員研修認知症基礎研修(施設介護支援専門員向け)	名古屋市内で介護サービスを提供する事業所の従業者の方で、施設で従事する介護支援専門員	「認知症の基礎知識」「本人本位の認知症ケアマネジメント」	2回	2カ所	5時間(1日)	52人	-	-	-						

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
・現場ニーズの正確・迅速な把握(受講率UP)・近隣の研修講師の把握・依頼	・一部半日開催 ・ホームページに研修開催要領を公開 ・受講申込者が少ない場合は再周知	・現場での人材不足により、施設職員の勤務体系に余裕がなく、研修に参加できないので、職場環境の整備が必要。(Off-JTの実施しやすい環境づくり) ・参加しやすい研修企画(開催時期、時間、日数、場所等)